

「コミュニティガスにおける保安の強化並びにカーボンニュートラルへの取り組み」

 コミュニティガス

一般社団法人 日本コミュニティガス協会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝タワー 1階

TEL.03-5405-2215 <https://www.jcga-page.or.jp/>



専務理事 藪内 雅幸

■一般社団法人日本コミュニティガス協会は、1970年(昭和45年)に旧(社)日本簡易ガス協会として設立されました。

LPガスは、昭和30年代頃から普及し始めました。その後に都市周辺部で急増した住宅団地にLPガスを導管で供給する「導管供給方式」が各地で採用されるようになりました。以来、その供給方式の簡便性、需要に対する迅速性、経済性などが高く評価され、全国的に普及し、地域の発展に寄与してきました。

そのような情勢に伴って1970年10月に、ガス事業法に70戸以上にLPガスを導管で供給する事業を「簡易ガス事業」と規定しました。その後、2017年4月からガス事業法の改正によりガス小売事業の一部となったため、「コミュニティガス事業」と称することとしました。

■当協会の活動として、ガス事故の撲滅に向けて、「コミュニティガス事業の事故事例集(2010年から2019年の10年分)」や、保安教育用資料としてガス事故防止、ガス工作物の維持管理並びに災害対策等を含めた14テーマの電子ファイルを参考例として収録した「コミュニティガス事業 保安教育の手引き」を発行する等保安の確保を支援しています。

■加えて、ガス事業法では保安規程や保安業務規程の届出、ガス工作物に対する技術基準への適合等が義務付けられているため、それらを一元的に管理し保安の見える化を図るべく、「保安管理状況チェックシート」を作成し、普段からの維持管理、当局の立入検査を受ける際の事前の自社チェックにも活用することで、コミュニティガス事業者の保安管理体制の高度化を推進しています。

■コミュニティガス業界においても、カーボンニュートラルの達成に向け、コミュニティガス団地における省エネ活動の他、地域や事業者のカーボ

ンオフセットの利用におけるクレジットの利用拡大を図るため、既に活用している事業者にはアヒアリングを行い「カーボンクレジットの活用について」を主題とした資料をまとめたところです。なお、トランジション期間においては、省エネに資する取り組みが重要となるため、省エネ機器の普及活動に協力するとともに、需要家の燃料転換あるいはエコジョーズを中心とした高効率機器導入によるクレジット創出に関する情報を整理し、コミュニティガス団地を核とするJ-クレジットの制度の利用促進などコミュニティガス事業のカーボンオフセットを支援していきます。

■また、自然災害の激甚化が懸念される状況を踏まえ、災害への備えとして、「災害対策マニュアル」を通じて、平時の備えから災害発生時の対応まで保安の向上に努めるよう会員事業者へ働きかけを行い、各々の団地の特徴を踏まえた状況に応じた不断の備えを充実させ、更なる災害対策に向けた対応能力の維持・向上を支援します。

■そして、今後発生が想定される、南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の巨大地震の発生の際には、各事業所の甚大な被害が想定され、防災会や事業者間における相互支援が必要になることから、特定製造所のガス工作物等の基礎的データの収集を行い、データベース化を図ることにより、災害対応の際の関係者間の連携が円滑に進むよう検討を行っています。



入居ビル全景